

所 属 鳥取県漁業協同組合（御来屋支所）
氏 名 とりもと ゆうすけ
鳥本 悠介（39歳）
船 名 だいさんみくりやまる 7トン
漁業種類 定置網



～今後の御来屋定置網を支える若手船員の一人～

御来屋の定置網漁船では、現在5名の船員が揚網から魚の水揚げまで息の合ったチームワークで作業を行っている。そんな船員の中で一番の若手が鳥本さんだ。

兵庫県出身で前職は鍼灸の療法士として働いていたが、大山町の自然豊かな場所での生活に憧れ、家族で移住を決意。自然に合わせた仕事のサイクルが魅力で、定置網漁船の船員になることを選んだ。当然ながら、畑違いの仕事に最初はロープの結び方一つ分からない状態ではあったが、今では御来屋定置の船員として欠かすことのできない存在となっている。

定置網を手繰りながら魚を引き揚げる最終段階で鳥本さんは本船から小型の船外機に乗り移り、巧みに船外機を操り、網に船を横付けし網を手繰る。もし、網の一部にたわみがあるとせっかく寄せた魚が逃げてしまうこともありとても重要な役割だ。今でも漁労長からの厳しい指導に耐えながら日々奮闘中で、「安全第一で御来屋定置網を続けていきたい」と穏やかな笑顔で今後の抱負を語って頂いた。

～大山町の移住・定住対策にも取り組む～

未明、早朝から出港する定置網漁。網を揚げ、魚を水揚げし作業はおおよそ午前中のうちに終わる。鳥本さんにとっても、この仕事を始めて、家族と過ごす時間が多くなったようだ。移住した大山町は県外からの移住定住者の受け入れに積極的な地区。最近では鳥本さんも県外からの移住・定住者のモデルケースとしてイベント等に参加し、大山町の盛り上げに一役買っているそうだ。

（文責：藤原 大吾）